

(中国乙05)

ヒト感染新亜型鳥インフル エンザ*推移 = 2025年9月度 =

発表: 2025年10月11日 国家NDPCA

作成: 2025年10月12日
日中医療衛生情報研究所

インフルエンザの分類について

- 中国でしか感染者が出ていないH5N6や、H9N2の患者については、

界面サイトでのH5N6患者に関する記述から、

「その他感染症」に分類されていることが判明しました

⇒ <https://www.jiemian.com/article/5659382.html>

の最終パラグラフご参照ください。

- と従来解説をしてきましたが、
「ヒト感染新亜型鳥インフルエンザ」と名前が変わり、
定義も変更、更にH7N9鳥インフルエンザもここに含めることになりました。

ヒト感染高病原性鳥インフルエンザ

- 2016年の年度報告書では、発症0、死亡1とされている。
- それでは、2016年1月に四川省成都市で確定診断された42歳男性は省CDCの誤診だった？
- また、2016年度の発症がなく死亡1ということについて、2015年度11月に確定診断された患者が2016年1月から5月になって死亡したということの可能性も排除できないが果たしてそうなのかは「？」
- 一時期、ヒト感染高病原性鳥インフルエンザH5N6患者を含めていたようだが、それらについては後日或いは後年に排除されている模様。

2025年9月分から、
定義が変わったため
この古い情報3頁は次月から削
除します。

2025年9月分から、定義が変わったので
この古い情報3頁は次月から削除します。

ヒト感染高病原性鳥インフルエンザ

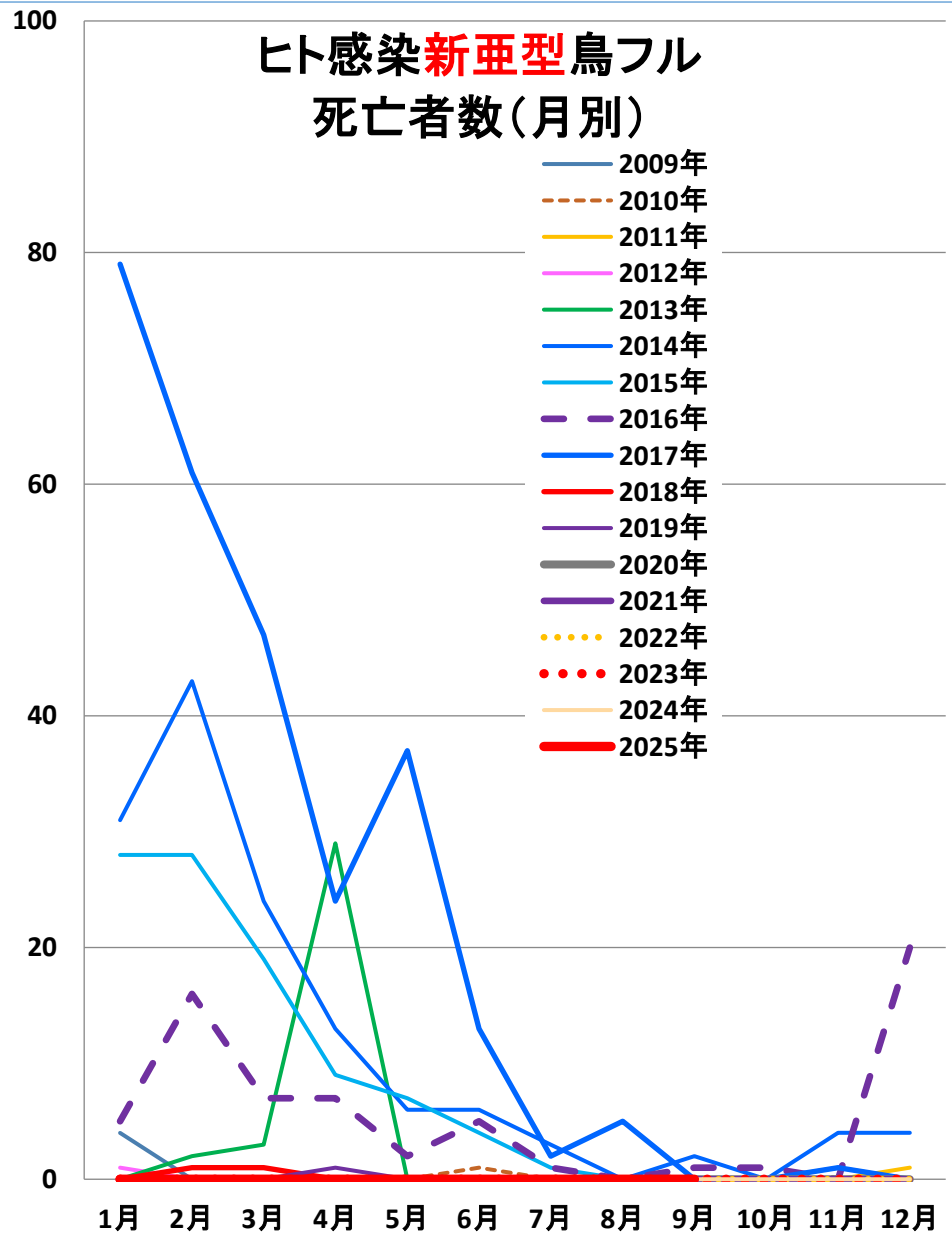
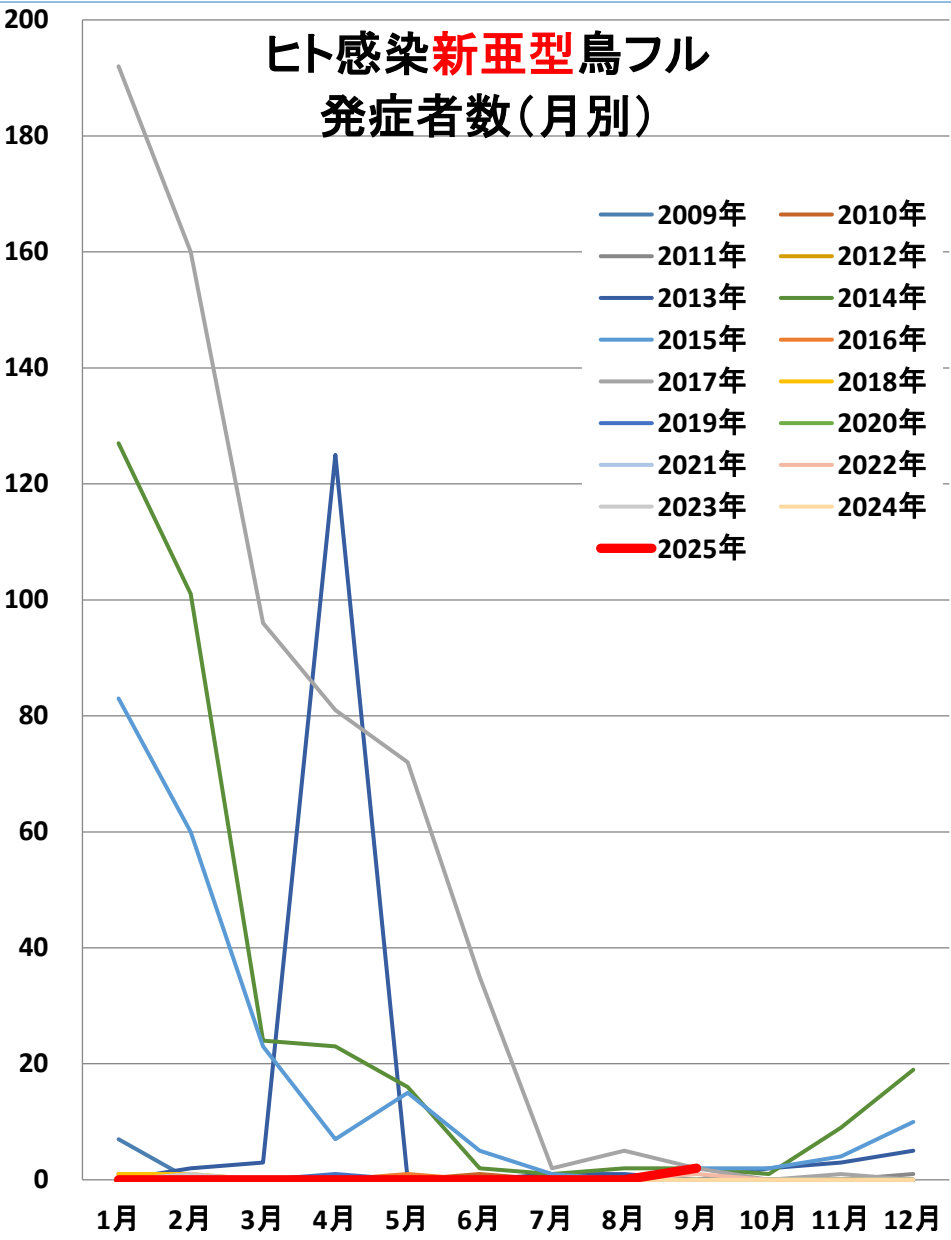
- 2022年11月30日 広西自治区忻州市の38歳女性の感染（9月発症、10月死亡）をHK-CHPがリーク。
- この患者の死亡が10月以後に発表されていないので、統計上ではいまでも生きていることになる。
- 2023年2月にも江蘇省で女性1例（発症は1月）。
- 死亡後にWHOが発表するも衛生当局は死亡を報じていないままに時が過ぎ去り、結局2022年度も2023年度も
の年報では死者はおろか発症者すらなかった『ゼロ』と
されていました（<https://wp.me/p66Elr-9tw>）。
- 2025年5月23日にWHOが広西チワン族自治区の女性1
例（4月には退院済み）の感染を発表した＝月報には
反映なし。**6月度月報でも触れてもいない。**

2025 年9月分から、定義が変わったので
この古い情報3頁は次月から削除します。

中国での鳥類の集団発生状況

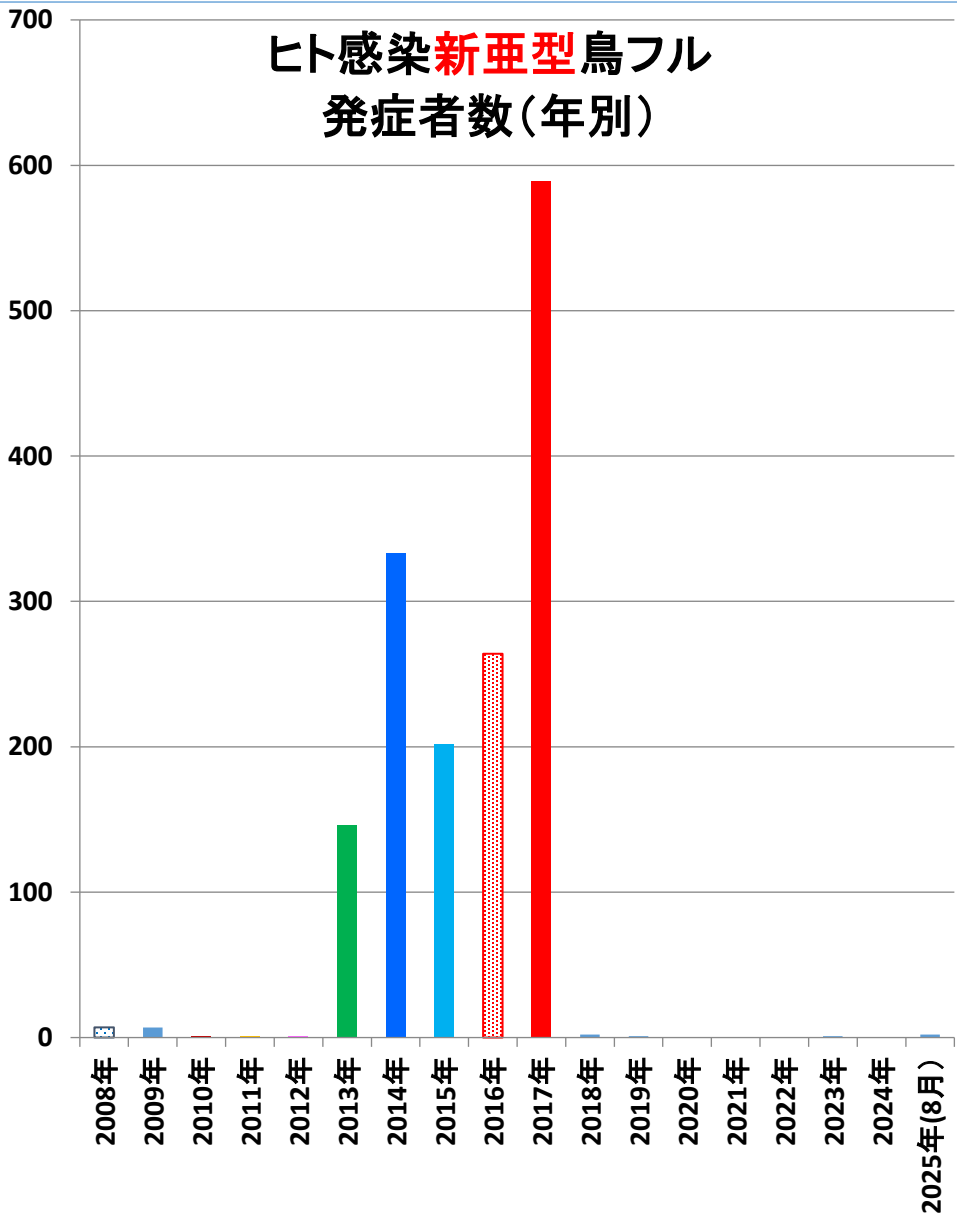
- 2018年6月22日青海省大柴旦で家禽に集団発生
- 2019年4月2日遼寧省瀋陽市で家禽に集団発生
- 2020年2月1日湖南省邵陽市で家禽に集団発生
- 2021年11月25日河北省唐山市で野鳥に集団発生
- 2022年7月22日青海省剛察県と共和県で野禽に集団発生
- 2023年7月チベット自治区ナクチュ市で野鳥に集団発生
- 2023年12月11日福建省福州市でのヒドリガモの発生

乙05:ヒト感染新亜型鳥インフルエンザ



乙05:ヒト感染新亜型鳥インフルエンザ

ヒト感染新亜型鳥フル
発症者数(年別)



ヒト感染新亜型鳥フル
死亡者数(年別)

